

第2650回例会



E-mail: zushirc@sage.ocn.ne.jp
Website: <http://www.zushi-rc.com/>

2016-2017 No.26 2017年2月2日

例会日
第1・2・4 木曜日 12:30
第3 木曜日 18:30
第5 木曜日 18:00
例会場:「カンティーナ」
逗子市新宿 1-3-15
TEL: 046-870-6440
事務所: 逗子市桜山 6-3-29
TEL&FAX: 046-873-0226

会長◆菊池 尚
会長以外◆村松 邦彦
副会長◆村松 邦彦
宝子山 泰久
幹事◆松田 壽之
SAA◆矢部 光治
会計◆市川 浩
直前会長◆桐田 吉彦
会報委員長◇宝子山 泰久

本日の進行 (12:30)
高山 みな子氏
(勝海舟 玄孫)
「幕末のキーマン勝海舟」
—次回のお知らせ—
2月9日 (12:30)
松本 みどり氏
(TVディレクター)
「南スーダン情勢」

— 2649回 例会記録 2017年1月26日 —

菊池会長の時間



みなさん、こんにちは
早いもので、1月も第4例会となってしまいました。世間では、インフルエンザがかなり大きく流行し、当クラブでも感染者が増えてい

るようです。

先週の日曜には、逗子RCが後援しております、逗子市中学生ディベート大会が開催されて、表彰式に行っていました。中学の部は参加チームも多く(10チーム)、特に女子が活躍しているのが印象に残りました(高校は、私学2校3チーム)。今回初めて拝見しましたが、子どもたちが、事前の準備や研究から本番と大変一生懸命にディベートに取り組んでいることが印象的でした。専門家の講評を聞き、ディベートにスポーツや武道に通じる奥深さをも感じることが出来、21回を重ねるこの事業を支援することは、逗子RCの奉仕の中でも、新世代奉仕として、中高生の成長を応援する素晴らしい活動であることを再認識しました。

さて、本日は職業奉仕月間の第二弾とも言うべき、卓話をお願い致しました講師の松尾明美さんは、2005年からなぎさ通り入り口で、ワインショップ a day を経営される方です。当クラブにも、田耕さんという先達がいらっしゃいますが、松尾さんは、専業主婦から一念発起され、10年少々で多店舗かつ幅広い事業展開まで進められており、市内でも数少ない活躍している女性起業家のお一人ではないかと思えます。実は、松尾さんには2009年に国交140年を記念した日本オーストリア交流年のイベント主催者として、卓話をしていただいたことがあります。

特に今日は、松尾さんに女性目線での起業、ショップへの想いや経営の苦労を伺ってみたいと思って、卓話をお願い致しました。もしかしたら、ワインの楽しいお話もあるかもしれません。どうぞ、よろしくお願いします。

報告

松田幹事 開催案内: 2/10(金)新会員の集い
18:00~ボウリング大会 於: 湘南ボウル
19:30~懇親会 於: 天狗 湘南藤沢店
逗子・地域よりお知らせ: 湘南の凧より会報到着

村松副会長エレクト ディベート大会を見てきました。人の考えを聞く事、話す事、本を良く読む事、文章を書く事は、コミュニケーションをする為には大切な事だと思います。特に中高生にとっては必要であると感じました。ロータリーとしても、奉仕活動の一環として今後ともディベート大会に貢献していく事が大切だと感じます。来年も楽しみ、今後ともよろしくお祈りします。

菊池会長 今年もロータリーがディベート大会に協賛する事ができ、嬉しく思います。メダルをかけてあげると喜んでいる学生達を見ていると、協賛金が有効に使われて、応援できて良かったと思えました。



「蟹の話」

村松 邦彦

昨年12月富山を旅し、帰り道に福井の三国で久しぶりに蟹を食してきた。北陸では、12月中旬に蟹の漁が解禁され多くの観光客が訪れる。「ずわい蟹」は地方によって呼び方が変わることで知られ、加賀(金沢)能登地方ではオスを加能蟹、メスを香箱蟹と呼び、少し南下し福井に行くとオスは越前蟹、メスはせいこ蟹と名前を変える。さらに南下し、山陰地方ではオスは松葉蟹、メスはコッペ蟹と呼び名が変わるらしい。いずれも「ずわい蟹」を独特なブランド名で表現している。越前蟹の中でも三国港で取れたものは献上蟹として、日本一の美味を誇っている。日本海の福井沖には海溝が存在し、中でも三国港沖の玄達瀬(げんたっせ)と呼ばれている棚で最高の蟹が取れると聞く。蟹は海底を歩く。北の玄達瀬の頂きで休息する蟹が、最も肉好きもよく、繊維質が細く身が締まっていると言われている。高価で、中々食せないが、せめて二年に一度は食べに行きたいと願っている。



女性起業家としてのこだわりを語る松尾氏



オイスターデリをセットした a day オリジナルワイン



ワインと相性抜群のオリジナルデリ



2階にはミニサロンを

男性と違い、女性は時代の流れに身を任すのが上手！自分は、いつも社会の流れと自身の相関関係の中で選択をしてきた人生だったと思っています。

それぞれの時代に輝いていた人達や世相から、色々なことを学びました。高度成長期を生きる親から学んだ 10 代(1970 年代)。第一線で働く男性たちから学んだ 20 代(1980 年代)。地域で子育てする仲間から学んだ 30 代(1990 年代)。キラキラする女性たちから学んだ 40 代(2000 年代)。そして様々な連携のあり方から学ぶことが多い 50 代(2010 年代)。いつの時代も、社会と自分個人との対比が、生き方を大きく作用してきました。これは、女性だからこそ出来る生き方かもしれません。私の大好きなシャンパーニュの大手メゾンは、ドン・ペリニオン、ボメリー、他未亡人が家業を大きくしてきました。それは、女性ならではのしたたかさと粘り強さが結果を作っていたのだと思います。特に、マリア・テレジアもしかりですが、女性は割合外交において目的さえあれば、交渉に思いもかけない能力を発揮します。今は、競争の時代でなく、共存共栄の時代。女性が活躍しているように感じるのは、多分そういう時代に向いているのだと思います。

2005 年、地元逗子なぎさ通りで「心に残る日のための小さなワインショップ〜a day」を OPEN した女性起業家、松尾明美氏。2011 年には代々木八幡にも「a day 東京店」を開設。

「本物志向の時代……ユーザーの共感を得られるものは残る。」という信念のもと、オーストリア産を中心に上質のワインにこだわり、また逗子海岸をイメージしたオリジナルラベルワインや、独自のオイスターデリ等「a day ブランド」を創作。逗子本店の 2 階には人と人をつなぐためのミニサロンも。

一方では、逗子が「音楽とワインが楽しめる街」になればとの思いから、逗子文化プラザで「オーストリア文化と触れ合う音楽とワインの会」を定期開催する等、地域に密着したワインを楽しむイベントも積極的に展開しています。

「モノからコトへ」時代の流れを嗅ぎ取りながら、女性ならではのしなやかな感性を生かしたマネージメントは、確実に地元に根を下ろしています。

「息子たちにはお金ではなくブランドを残したい」という言葉がとても印象的でした。

担当 宝子山

ニコニコBOX本日合計

¥24,000

累計 ¥1,167,210

菊池君…職業奉仕月間第 2 段、松尾様卓話よろしくお願ひします。
 松田君、服部君…松尾様、卓話宜しくお願ひ致します。
 村松君…寒い日が続きます。風邪に気をつけましょう。卓話楽しみ。
 宝子山君…松尾明美様。美味しいワインの話楽しみです。
 矢部(光)君…ワインの話(松尾明美様)よろしく！
 毛利君…富士山が綺麗です。元気です。
 安藤君…冬の富士山は大変美しくすばらしいですね。
 船津君…松尾さんスピーチよろしく。
 福嶋君…青い海真っ白な富士山やわらかな冬の日差し、心が安らぐ。

山科君、山口君…松尾さんよろしく。
 矢部(房)…松尾さん卓話宜しくお願ひします。
 山本(由)君…松尾さんワインの話宜しく。
 北島君…今年初めての出席です。今年もよろしくお願ひします。
 小西君…富士山がはっきり見えて改めて逗子海岸は素晴らしいと感じました。
 清水(恵)さん…ちょっと良いことありました。
 清水(信)君…松尾さんスピーチよろしく。

【出席報告】 会員数 53 名 (出席免除 5 名)
 出席者 20 名 出席率 40.00%

R財団ニコニコ

矢部(房) ¥1,160 菊池 ¥1,160

米山ニコニコ

矢部(光) ¥2,000 矢部(房) ¥1,000
 船津 ¥1,000 菊池 ¥1,000